岩国市
IWAKUNI

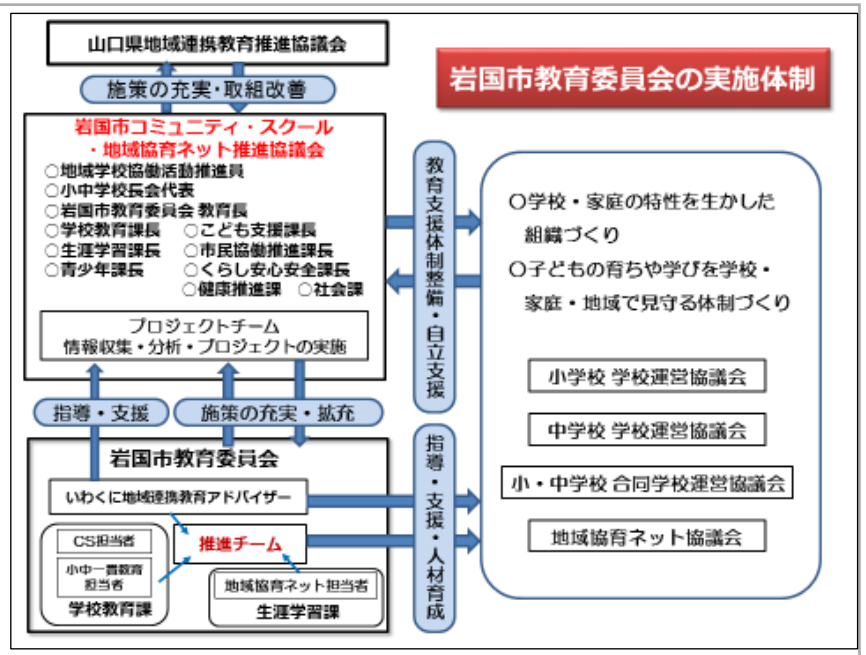
岩国市の推進構想

1　取組の成果と課題

○児童生徒が参画する場についての理解が深まり、自校での取組に反映させようという学校が増えてきた。

○研修会での熟議を通して地域連携教育担当者と社会教育指導員の連携が深まった。

●新型コロナウイルスの影響で活動が制限されたため、児童生徒に「コミュニティ・スクールのよさ」を実感させる機会が少なかった。



2　重点取組事項

・地域連携教育の「意義」や「よさ」の浸透。
・関係者同士の連携強化及び担当者のマネジメント力向上。
・地域の実情に応じた校種間連携の促進。

3　取組の指標

・児童生徒が、コミュニティ・スクールのよさを感じている割合。
・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合。
・「地域連携教育の推進に主体的に取り組んでいる」と答えた関係者及び担当者の割合。
・学校・地域連携カリキュラムを学校運営協議会委員と共有している学校の割合。

活動取組

別紙様式

修成小学校



「キラリンピック」として、児童・保護者・地域住民が一緒にボッチャを体験。

錦清流小学校



新入生７人が地域の山でワラビ採りを体験。住民を講師として、地元について学ぶ授業の一環。

川下中学校



６月に行った生徒総会で話題になった「地域とのつながり」について、一緒に熟議。

由宇中学校



愛称が「結愛（ゆうあい）ネット」に決まり、のぼり旗を一新。生徒会役員が地域住民らに披露。